

事務事業評価調書

事務事業名	感染症予防事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく、消毒業務を委託化											
(2) 直近の改正	平成20年度													
(3) 根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	大阪府知事から指示された感染症の発生場所及び二次感染の恐れがある場所											
	目標 (どうい状態にしたいのか)	感染症の拡大予防												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	公衆衛生の確保												
(7) 事業概要	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく法定受託事務であり、大阪府知事から指示された感染症の発生場所及び二次感染の恐れがある場所を消毒します。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	02	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		207	0	207	0	207							
	人件費	職員数	人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10						
		総額(B)	千円	836	0	817	0	806						
	総事業費(A+B)		1,043	0	1,024	0	1,013							
	特定財源(C)		136	0	136	0	137							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	136	0	136	0	137							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		907	0	888	0	876							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		907	0	888	0	876								
財源計(C+D)		1,043	0	1,024	0	1,013								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	増三産業株式会社										
			②											
			③											
			主な委託内容	消毒作業										
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	① 活動内容	法定受託事務で大阪府知事から指示された感染症の発生場所及び二次感染の恐れがある場所の消毒			目標	消毒業務に精通した業者に委託することで、感染症のまん延の防止	
	② 成果内容	感染症の拡大予防			達成状況	近年発生事例無し	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	感染症の発生予防、感染症のまん延防止のための備えは必要です。					

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	感染症予防事業	事業区分	その他
事務事業番号	00637				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	00637
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes representing different evaluation criteria. The vertical axis is '妥当性' (Appropriateness) with a scale from 0 to 20. The right axis is '有効性' (Effectiveness) with a scale from 0 to 20. The bottom-right axis is '効率性' (Efficiency) with a scale from 0 to 20. The bottom-left axis is '公平性' (Fairness) with a scale from 0 to 20. The left axis is '持続可能性' (Sustainability) with a scale from 0 to 20. The chart shows a blue-filled area representing the scores for each criterion: Appropriateness is 15, Effectiveness is 10, Efficiency is 10, Fairness is 10, and Sustainability is 10.</p>		
(3)現状分析	<p>感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症発生時に大阪府からの指示により発生現場の消毒を実施する法定受託事務の事業です。最近は幸いにして消毒実績はありませんが、業務に精通した業者に委託し、感染症発生時に消毒実施できるよう備えが必要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	狂犬病予防事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和25年度	改正 内容	狂犬病予防法に基づく飼犬登録及び狂犬病予防注射済票交付事務が、都道府県知事から市町村長の事務になりました。											
(2)	直近の改正	平成12年度													
(3)	根拠法令等	狂犬病予防法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	生後91日以上の犬を飼っている市民等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	狂犬病の予防												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	健康で快適な生活環境の確保												
(7)	事業概要	狂犬病予防法に基づく飼犬登録業務及び狂犬病予防注射済票交付業務を行います。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	05	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,618	3,206	3,544	3,351	3,899							
		人件費	職員数	人	0.70	0.80	0.60	0.40	0.72						
			総額(B)	千円	5,847	6,432	4,902	3,160	5,798						
		総事業費(A+B)		9,465	9,638	8,446	6,511	9,697							
		特定財源(C)		8,289	8,510	3,544	6,619	9,628							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	8,289	8,510	3,544	6,619	9,628							
		市負担(D)		1,176	1,128	4,902	▲ 108	69							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	1,176		1,128	4,902	▲ 108	69									
財源計(C+D)		9,465	9,638	8,446	6,511	9,697									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市開業獣医師会										
				②	くすのき動物病院										
				③	動物病院ファミリー										
		主な委託内容		登録・済票交付業務及びその手数料徴収業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	新規飼犬登録件数	目標値	(単位:件)	1,055.00	1,150.00	2,309.00
			実績値	(単位:件)	1,109.00	2,472.00	
			達成度(%)		105.1	215.0	
	目標値の積算方法	予算の算定根拠による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8.69	2.68
				一般財源(単位:千円)		1.02	0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(2) 成果指標		①	狂犬病予防注射済票発行件数	目標値	(単位:件)	9,315.00	9,350.00
	実績値			(単位:件)	9,217.00	10,502.00	
	達成度(%)			98.9	112.3		
	目標値の積算方法	予算の算定根拠による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.05	0.63
				一般財源(単位:千円)		0.12	0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		法定受託事務であり、飼犬登録等の事務手続きも多いですが、手数料によって一定の事務経費がまかなわれています。				

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	狂犬病予防事業	事業区分	その他
事務事業番号	00638				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	00638
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>現状業務として、狂犬病予防法に規定されている飼犬登録及び狂犬病予防注射済票交付の事務手続きを行っています。さらに、転出入や飼犬死亡による登録変更等、市が担っている業務も多くあります。大阪府と連携して、飼犬の適正な飼い方に対する市民への啓発も進めているので、今後さらに普及を図っていきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	衛生害虫等駆除事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正内容	そ族、衛生害虫、不快害虫、危険害虫及び蜂等の駆除を委託化											
(2)	直近の改正	平成20年													
(3)	根拠法令等	感染症及び感染症患者に対する医療に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	衛生害虫、不快害虫、危険害虫、そ族及び蜂												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	衛生害虫等の発生抑制及び駆除												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	環境衛生の充実													
(7)	事業概要	市内の市有公共施設等で発生するハエ、蚊、ゴキブリ等の衛生害虫、ユスリカ等の不快害虫、毒毛虫やセアカゴケグモ等の危険害虫、ねずみ族等の駆除及び蜂の巣の除去を行います。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	06	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		11,500	11,596	11,500	9,518	10,848							
		人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.50	0.45						
			総額(B)	千円	5,012	4,824	4,902	3,950	3,624						
		総事業費(A+B)		16,512	16,420	16,402	13,468	14,472							
		特定財源(C)		1	0	1	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	1	0	1	0	0							
		市負担(D)		16,511	16,420	16,401	13,468	14,472							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	16,511		16,420	16,401	13,468	14,472									
財源計(C+D)		16,512	16,420	16,402	13,468	14,472									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	増三産業株式会社										
				②	ホームサービス株式会社										
				③											
		主な委託内容		害虫駆除											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	害虫駆除件数	(単位:)	155.00	227.50	/
			実績値	(単位:)	227.50	158.00	
			達成度(%)		146.8	69.5	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	72.18	86.09		
			一般財源(単位:千円)	72.18	86.09		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		毛虫等の害虫駆除や河川等における薬剤散布については、環境への負荷を最小限にとどめることに留意した薬剤を使用しています。 また、平成27年度に比して、平成28年度の害虫に対する苦情件数は増加していることから、今後も環境衛生の充実を図る必要があります。				

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	衛生害虫等駆除事業	事業区分	その他
事務事業番号	00639				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	00639
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

市町村により害虫の生息やそれに伴う駆除件数が違うことから事業費の比較・分析は難しいです。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公共施設における蜂の巣除去、毛虫等の駆除、河川等におけるユスリカ等への羽化抑制の薬剤散布を専門の業者に委託して行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市有墓地管理事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和36年	改正 内容	使用許可証発行手数料の改正											
(2) 直近の改正	平成27年													
(3) 根拠法令等	吹田市市有墓地条例、同施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市有墓地											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	適正な維持管理 墓地施設の適正な運営による公衆衛生の確保												
(7) 事業概要	市有墓地の使用許可等墓籍管理・墓地光熱水費の負担・墓地除草剪定・修繕整備等を行います。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	06	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,292	2,059	5,795	4,741	2,096							
	人件費	職員数	人	0.30	0.60	0.60	0.70	0.45						
		総額(B)	千円	2,506	4,824	4,902	5,530	3,624						
	総事業費(A+B)		4,798	6,883	10,697	10,271	5,720							
	特定財源(C)		2	2	3	1	3							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		2	2	3	1	3						
	市負担(D)		4,796	6,881	10,694	10,270	5,717							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,796	6,881	10,694	10,270	5,717								
財源計(C+D)		4,798	6,883	10,697	10,271	5,720								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	有限会社春光園										
			②	株式会社中野造園吹田支店										
			③	岩本工業株式会社ほか										
	主な委託内容		除草業務、墓地区画整地業務ほか											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	活動内容	周辺の生活環境と調和を図りながら、墓地の除草や樹木の剪定作業、水道設備等の維持管理業務を行います。			目標
	②	成果内容	墓地の適正管理による公衆衛生の確保			達成状況	維持管理にかかわるコストは必要最小限であり、十分な効果を得ています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		墓地にお参りに来られる市民等に支障がないよう定期的に除草、樹木の剪定を行うなど、周辺の生活環境と調和するよう配慮して墓地の維持管理を行っています。墓地の承継手続きは、代替わりしていくと年々困難になるため、使用者の確認を積極的に行うなど、引き続き墓地を適正管理し、公衆衛生を確保する必要があります。				

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	市有墓地管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00640				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	00640
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

市町村により墓地の規模等も違うため、事業費を比較・分析することは難しい。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>墓地の区画の使用承認申請や埋蔵届、使用者の住所等の変更届等を受け付け、墓地区画の管理を行っています。また、墓地設備の補修や墓地の共有部分の除草、剪定等を行うなどの墓地の維持管理を実施しており、墓参者の支障にならないように努めています。</p> <p>平成28年度においては、市有川面墓地及び片山墓地にて計20区画の募集を行い、全て使用申請があったため使用許可をしています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	空地管理事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和49年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	吹田市環境の保全等に関する条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	空地の所有者、占有者、管理者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	民間空地内の雑草、廃棄物等により、近隣住民の生活環境に支障を及ぼさない状態にする												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	快適な生活環境の確保													
(7)	事業概要	空地が良好に管理されないことにより近隣住民の生活環境に著しい支障を及ぼしている場合に、空地の所有者等に対して雑草の除去等必要な措置・対応を指導します。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	06	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		5	0	5	1	5							
		人件費	職員数	人	0.30	0.00	0.50	0.30	0.25						
			総額(B)	千円	2,506	0	4,085	2,370	2,013						
		総事業費(A+B)		2,511	0	4,090	2,371	2,018							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		2,511	0	4,090	2,371	2,018							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	2,511		0	4,090	2,371	2,018									
財源計(C+D)		2,511	0	4,090	2,371	2,018									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	空地管理に関する苦情等申出件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:件)	95.00	89.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	27.55			
			一般財源(単位:千円)	0.00	27.55			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	個々の状況に応じた改善措置の基準が無く、成果について客観的に判断することができません。			達成状況	ほとんどの申出に対し、土地所有者等を特定し、適正管理指導を行っています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市内にある空地について、所有者等に除草等の管理指導を行うことによって、周辺生活環境の維持向上が図られています。					

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	空地管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	000641				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	000641
-----	-------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>空地の周辺住民からの通報や苦情を受け、所有者等に空地内の雑草の除去等必要な措置を講ずるよう指導を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	飼い猫等避妊・去勢手術補助事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成8年度	改正内容	補助金の額を飼い猫等1匹につき5,000円から飼い猫1匹につき2,500円、野良猫1匹につき5,000円に変更											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市飼い猫等避妊・去勢手術補助金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	手術可能な猫の飼い主等											
	結果(どのような効果が得られるのか)	猫の避妊・去勢手術費用の削減を図り、市民に飼い猫等の避妊・去勢手術の実施を促します。												
(7) 事業概要	市民に飼い猫等の避妊・去勢手術を促すため、手術経費補助として飼い猫1匹につき2,500円、野良猫1匹につき5,000円(一世帯につき2匹まで)を交付する事業です。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	06	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,000	990	1,000	998	1,000							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.50	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	2,506	2,412	4,085	2,370	2,416						
	総事業費(A+B)		3,506	3,402	5,085	3,368	3,416							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		3,506	3,402	5,085	3,368	3,416						
地方債		0	0	0	0	0								
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		3,506	3,402	5,085	3,368	3,416								
財源計(C+D)		3,506	3,402	5,085	3,368	3,416								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	交付決定を受け、手術を実施した市民											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 補助交付決定件数	目標値	(単位:件)	200.00	200.00	217.00	
			実績値	(単位:件)	198.00	217.00		
			達成度(%)		99.0	108.5		
	目標値の積算方法	各年度当初見込み件数(交付決定後、体調不良等により手術を受けられず、補助金交付取消する場合があります。)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		17.18	15.89	
				一般財源(単位:千円)		17.18	15.89	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
の3が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	補助金を交付することで、野良猫等の繁殖防止による生活環境の向上。			達成状況	当該補助制度によって毎年約200匹の猫の避妊・去勢手術をしていることから、野良猫等の増加を抑制しています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		猫は外飼いしているといつの間にかたくさんの子猫が生まれているということがあるため、猫の避妊・去勢手術に補助を行うことで、猫に対する正しい理解と飼うことに対する責任を自覚してもらうよう啓発し、猫のみだりな繁殖の防止に寄与しています。また、「猫の飼養ガイドライン」により、動物の愛護や適正な飼養に関する普及啓発を図っています。					

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	飼い猫等避妊・去勢手術補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00642				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	00642
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度までは飼い猫・野良猫を問わず、避妊・去勢手術に対し、1匹あたり5,000円の補助を行っていましたが、平成28年度からは飼い猫1匹につき2,500円、野良猫1匹につき5,000円の補助とし、補助数の枠を拡充しました。 今後、さらに避妊・去勢手術の促進を図り、猫の繁殖を抑制することで、不幸な猫の減少を図っていきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市営葬儀に関する事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和32年度	改正 内容	飾付使用料の改定											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	吹田市営葬儀条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市において葬儀を行う者(故人または申請者が市民である場合に限る)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	規格及び料金を設定し、指定葬儀業者に祭壇等の飾付及び式事の執行等を委託することにより、簡素にして低廉・厳粛な葬儀を行います。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	簡素にして低廉・厳粛な市民のための葬儀の実施													
(7)	事業概要	吹田市営葬儀条例において定められた葬儀を実施する事業です。 市営葬儀のうち、遺体の取扱い、葬祭用品等の供給、祭壇等の飾付及び式事の執行を指定葬儀業者に委託しています。 平成29年7月から吹田市規格葬儀へ移行します。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	08	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		25,001	25,875	27,806	26,149	6,625							
		人件費	職員数	人	0.30	0.50	0.50	0.70	0.10						
			総額(B)	千円	2,506	4,020	4,085	5,530	806						
		総事業費(A+B)		27,507	29,895	31,891	31,679	7,431							
		特定財源(C)		24,907	25,875	27,706	25,340	6,622							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	24,907	25,875	27,706	25,340	6,622							
		市負担(D)		2,600	4,020	4,185	6,339	809							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	2,600		4,020	4,185	6,339	809									
財源計(C+D)		27,507	29,895	31,891	31,679	7,431									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	指定葬儀業者7社										
				②											
				③											
		主な委託内容		市営葬儀											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 市営葬儀指定業者数	目標値	(単位:社)	7.00	7.00	/
			実績値	(単位:社)	7.00	7.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	市営葬儀指定業者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4,270.71	4,552.57	
				一般財源(単位:千円)	574.29	932.57	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 市営葬儀利用件数	目標値	(単位:件)	170.00	182.00
	実績値			(単位:件)	185.00	191.00	
	達成度(%)			108.8	104.9		
	目標値の積算方法	各年度当初見込み件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	161.59	166.85	
				一般財源(単位:千円)	21.73	34.18	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市が実施する葬儀として、市民の安心感とともに低廉な葬儀が実施されていますが、手続きの簡略化による利便性の向上のため平成29年7月から吹田市規格葬儀に移行します。 また、より簡素で低廉な葬儀を望む声が寄せられていることから、宗派にとらわれない祭壇や式事を省いた略式型の規格を平成29年7月から増設します。				

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	市営葬儀に関する事業	事業区分	その他
事務事業番号	00643				

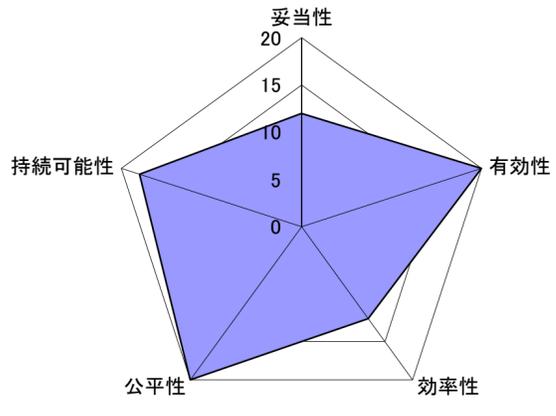
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	00643
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (top), 有効性 (right), 効率性 (bottom-right), 公平性 (bottom-left), and 持続可能性 (left). The scale ranges from 0 to 20 in increments of 5. The chart shows a score of approximately 10 for 妥当性, 15 for 有効性, 10 for 効率性, 10 for 公平性, and 10 for 持続可能性.</p>		
(3)現状分析	<p>市が実施する葬儀として、市民の安心感とともに低廉な葬儀が実施されていますが、手続きの簡略化による利便性の向上のため、平成29年7月から吹田市規格葬儀に移行します。 また、より簡素で低廉な葬儀を望む声が寄せられていることから、宗派にとられない祭壇や式事を省いた略式型の規格を平成29年7月から増設します。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	やすらぎ苑施設管理事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	施設の建て替え											
(2) 直近の改正	平成20年度													
(3) 根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市立やすらぎ苑											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の適正な維持管理 火葬業務の円滑な執行												
(7) 事業概要	吹田市立やすらぎ苑の施設管理業務です。 主な管理内容は、受付、清掃、光熱水費の負担、火葬炉設備修繕整備等です。 平成30年4月から指定管理者制度へ移行します。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	09	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		58,433	62,803	49,772	55,214	60,113							
	人件費	職員数	人	0.50	1.10	1.00	1.20	1.00						
		総額(B)	千円	4,176	8,843	8,170	9,480	8,052						
	総事業費(A+B)		62,609	71,646	57,942	64,694	68,165							
	特定財源(C)		216	261	209	155	825							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	216	261	209	155	825							
	市負担(D)		62,393	71,385	57,733	64,539	67,340							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		62,393	71,385	57,733	64,539	67,340								
財源計(C+D)		62,609	71,646	57,942	64,694	68,165								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社ビケンテクノ										
			②	太陽築炉工業株式会社										
			③	大阪環境整備株式会社										
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	火葬件数	目標値	(単位:件)	2,741.00	3,197.00	3,197.00
			実績値	(単位:件)	2,845.00	3,130.00		
		達成度(%)				103.8	97.9	
	目標値の積算方法	各年度当初見込み件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		25.18	20.77	20.72
				一般財源(単位:千円)		25.09	20.72	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	適正な施設管理		達成状況	問題なく施設管理を行っている。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	火葬場は火葬業務を実施するための施設であり、同業務の特殊性からも適切な維持管理を行っています。平成30年4月からは、火葬事業と統合し、民間のノウハウを活用した行政財産のさらなる有効活用と、より効率的な施設管理運営を行うため、指定管理者制度へ移行します。						

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	やすらぎ苑施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00644				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点				
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点		
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	12	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点		
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点		
(4) 公平性 (20点)	0	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点		
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	00644
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>火葬場という特殊な施設であることから、継続して、周辺環境にも配慮した適切な施設の維持管理を行う必要があります。 平成30年4月からは、火葬事業と統合し、民間のノウハウを活用した行政財産のさらなる有効活用と、より効率的な施設管理を行うため、指定管理者制度へ移行します。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	火葬事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正内容	やすらぎ苑使用料の改正											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	①埋火葬または、改葬の許可を受けたもの ②死亡した犬や猫等及び医療に伴う排出物												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	①市民の宗教的感情に適合し、かつ公衆衛生その他公共の福祉に資する。 ②腐敗による衛生状態の悪化を防ぐため焼却処分する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	①市民等(遺体)の火葬を適正に執行することで環境衛生の充実を図る。 ②適切に焼却処分することで、環境衛生の充実を図る。													
(7)	事業概要	棺の受入、火葬及び収骨等の火葬に係る業務を行います。 事業課より搬入される死亡した犬や猫等及び医療に伴う排出物を焼却します。 平成30年4月から指定管理者制度に移行します。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	09	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		54,313	48,777	53,817	44,889	50,887							
		人件費	職員数	人	0.30	0.50	0.50	0.30	0.30						
			総額(B)	千円	2,506	4,020	4,085	2,370	2,416						
		総事業費(A+B)		56,819	52,797	57,902	47,259	53,303							
		特定財源(C)		32,496	28,829	52,228	38,347	50,291							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	32,496	28,829	52,228	38,347	50,291							
		市負担(D)		24,323	23,968	5,674	8,912	3,012							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	24,323		23,968	5,674	8,912	3,012									
財源計(C+D)		56,819	52,797	57,902	47,259	53,303									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	太陽築炉工業株式会社										
				②											
				③											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	遺体(胎)の適正な火葬			目標	適正な火葬	
	②	成果内容	適正な火葬執行の維持			達成状況	火葬において、特に苦情もなく適正な火葬業務を執行しています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		火葬場は火葬業務を実施するための施設であり、同業務の特殊性からも適切に行っています。平成30年4月からは、やすらぎ苑施設管理事業と統合し、民間のノウハウを活用したさらなる効率的な火葬事業運営のため、指定管理者制度へ移行します。					

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	火葬事業	事業区分	その他
事務事業番号	00645				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	00645
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>火葬場という特殊な施設であることから、継続して、周辺環境にも配慮した適切な火葬業務等を行う必要があります。 平成30年4月からは、やすらぎ苑施設管理事業と統合し、民間のノウハウを活用したさらなる効率的な火葬事業運営のため、指定管理者制度へ移行します。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中高層建築物に係る指導・紛争調整事務事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和53年度	改正内容	「中高層建築物の日照障害等の指導要綱」から「中高層建築物の日照障害等の指導要領」に改正											
(2)	直近の改正	平成22年度													
(3)	根拠法令等	吹田市中高層建築物の建築に係る紛争の調整に関する条例、中高層建築物の日照障害等の指導要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	高さ10mを超える建築物の建築に伴う紛争												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	中高層建築物の建築に係る紛争の調整を図り、良好な近隣関係・生活環境を保全する。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	快適な生活環境の確保												
(7)	事業概要	中高層建築物の建築に係る建築主と関係住民との紛争を未然に防止し、また、紛争が生じたとき、申し出に応じてあっせん及び調停を行います。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		206	0	206	0	206							
		人件費	職員数	人	1.80	0.00	1.00	0.00	0.65						
			総額(B)	千円	15,034	0	8,170	0	5,234						
		総事業費(A+B)		15,240	0	8,376	0	5,440							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		15,240	0	8,376	0	5,440							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			15,240	0	8,376	0	5,440								
財源計(C+D)		15,240	0	8,376	0	5,440									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	10mを超える建築物の住民説明報告を受け、周辺住民との紛争防止に努めるとともに、紛争が生じたときは、あっせん及び調停の調整業務を行います。		目標	紛争が生じる前に、事業者に対し周辺住民への調整を誠意を持って行うことを指導し、紛争の未然防止に努めます。	
	②	成果内容	紛争に対し可能な限り双方の妥協点を見つけ、合意形成を図ります。		達成状況	事業者と住民という違う立場のため100%の納得とはならないが、最終的には誠意と妥協となっています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		中高層建築物の建築に伴う日照の確保、電波障害、プライバシー等の問題について、関係者の相互理解により解決できるよう、事業者指導、住民相談や両者間の調整を行うことにより、良好な近隣関係の保持を図っています。				

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	中高層建築物に係る指導・紛争調整事業事務	事業区分	その他
事務事業番号	000646				

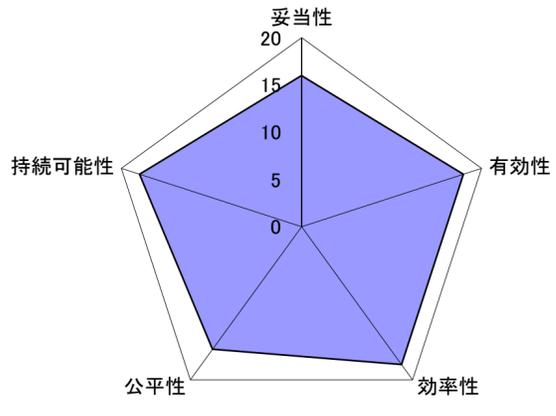
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	000646
-----	-------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高度経済成長期の公的建築物の建替えや民間建築物の更新など中高層建築物の建設が進んでいます。これに伴う手続き(事前協議、近隣説明等)も多くなっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	旅館営業規制事務事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和46年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	吹田市旅館営業に対する規制に関する条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	旅館営業を営もうとする者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	旅館営業者に対して必要な規制を加えることにより、善良な風俗を維持する												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	快適な生活環境の確保													
(7)	事業概要	市内において、旅館営業を行おうとする者又は行っている者等が、旅館営業を目的とした建造物を建築しようとするとき、既存の建造物を用いて旅館営業を行うとき等に対して市長の同意決定にあたり、吹田市旅館営業審議会に諮問し、答申を得て決定します。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	02	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		69	0	69	34	69							
		人件費	職員数	人	0.20	0.00	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,671	0	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		1,740	0	1,703	1,614	1,680							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,740	0	1,703	1,614	1,680							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,740	0	1,703	1,614	1,680								
財源計(C+D)		1,740	0	1,703	1,614	1,680									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	旅館営業の申請に対する市長の同意決定にあたり、旅館営業審議会に諮問します。			目標	旅館営業審議会の適正な判断を適切に進めます。	
	②	成果内容	旅館営業者に対して、必要な規制を加えることで善良な風俗を維持します。			達成状況	年1~2件の申請であるが、適切に処理ができています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本事業を継続することで善良な風俗を害する旅館営業に規制をかけることができ、良好な生活環境が保全されています。本市域内では、ホテル等の建築はほとんどない状況にありますが、既存ホテルの営業引継や、空き室を利用した簡易宿所営業などがあり、国や他市の動向に注視してまいります。					

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	旅館営業規制事務事業	事業区分	その他
事務事業番号	000647				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	000647
-----	-------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>旅館営業を行おうとする者に対して義務付けている市長同意を決定するにあたり、吹田市旅館営業審議会に諮問し、同意、不同意の決定、又は同意条件の答申を得て決定することによって、善良な風俗を害する旅館営業に規制をかけることができています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	アライグマ等危険動物捕獲事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成21年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	アライグマ等の危険動物												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	捕獲及び処分												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	良好な生活環境の確保													
(7)	事業概要	発見されたアライグマ等危険動物の捕獲及び処分を行っています。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		132	81	132	70	137							
		人件費	職員数	人	0.10	0.40	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	836	3,216	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		968	3,297	1,766	1,650	1,748							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		(内訳)	市負担(D)		968	3,297	1,766	1,650	1,748						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源		968	3,297	1,766	1,650	1,748									
財源計(C+D)		968	3,297	1,766	1,650	1,748									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	増三産業株式会社										
				②											
				③											
主な委託内容		アライグマ等危険動物捕獲にかかる搬送業務													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 アライグマ捕獲数	目標値	(単位:件)	10.00	10.00	10.00
			実績値	(単位:件)	10.00	5.00	
			達成度(%)		100.0	50.0	
	目標値の積算方法 各年度予算による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		329.70	340.80	
			一般財源(単位:千円)		329.70	340.80	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 市民からのアライグマにかかわる相談件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00
	実績値			(単位:件)	10.00	18.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		329.70	94.67	
			一般財源(単位:千円)		329.70	94.67	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		捕獲器の設置場所の困難さがあり捕獲実績につながらない面はありますが、捕獲実績や目撃情報が市内で引き続きあるため、捕獲事業を継続すべきと考えています。				

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	アライグマ等危険動物捕獲事業	事業区分	その他
事務事業番号	00648				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	00648
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

市町村により生息数やそれに伴う捕獲頭数が違うことから事業費の比較・分析は難しいですが、処分費は大阪府へ負担金として支出しているため、単価は一定です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>特定外来生物であるアライグマの目撃情報が引き続きあることから、当該事業を継続的に実施する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	看板撤去関係事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成11年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	屋外広告物法、大阪府屋外広告物条例、吹田市環境美化に関する条例等													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明		市内の個人や団体ボランティアと連携して、違法な簡易広告物の撤去を定期的に行います。											
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地域の環境												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	屋外広告物の掲出や表示の適正化等を推進します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	清潔できれいなまちがつけられ、市民の生活環境の向上につながります。													
(7)	事業概要	屋外広告物の適正な掲出の指導、啓発事業、違法屋外広告物の撤去通告等を実施します。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	05	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		200	185	200	190	183							
		人件費	職員数	人	0.40	0.80	0.60	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	3,341	6,432	4,902	3,950	4,026						
		総事業費(A+B)		3,541	6,617	5,102	4,140	4,209							
		特定財源(C)		200	185	200	200	200							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	200	185	200	200	200							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		3,341	6,432	4,902	3,940	4,009							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	3,341		6,432	4,902	3,940	4,009									
財源計(C+D)		3,541	6,617	5,102	4,140	4,209									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社NANBU										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容				看板ごみ処分業務							
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 違法屋外広告物撤去活動回数	目標値	(単位:回)	216.00	253.00	218.00	
			実績値	(単位:回)	253.00	218.00		
			達成度(%)		117.1	86.2		
	目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		26.15	19.61	
				一般財源(単位:千円)		25.42	18.69	
	②	指標内容 違法屋外広告物の撤去数	目標値	(単位:枚)	310.00	211.00	110.00	
実績値			(単位:枚)	211.00	110.00			
達成度(%)			68.1	52.1				
目標値の積算方法		前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		31.36	38.86	
				一般財源(単位:千円)		30.48	37.05	
(2) 成果指標		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	違法な簡易広告物の撤去を定期的に行い、清潔できれいなまちをつくることで、市民の生活環境の向上を図ります。			達成状況	継続した活動の結果、違法屋外広告物の掲出数は減少傾向にあります。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		道路管理者などの関係機関、市民や企業等の活動団体と連携して活動することで、地域の環境美化に寄与しています。 また、年々屋外広告物の撤去数が減少していることから、清潔できれいなまちがつけられ、市民の生活環境の向上につながっています。					

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	看板撤去関係事業	事業区分	その他
事務事業番号	00649				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	00649
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

市町村により違法屋外広告物の掲出状況が異なるため、事業費の比較・分析は難しいのですが、違法屋外広告物撤去活動回数は、北摂各市と比べて多い状況にあります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>大阪府茨木土木事務所、関西電力、NTT等と吹田市違法屋外広告物撤去促進連絡会を組織し、定期的に看板撤去を実施しています。また、市民からの通報やボランティアによる広告物撤去を実施することで違法看板の掲出が減少傾向にあります。今後も継続した活動を実施することで、更なる環境美化の推進を図る必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	環境美化啓発事業				
担当部署	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成11年度	改正内容	吹田市内全域の道路等の公共の場所における歩行喫煙の禁止、環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区等で勧告に従わない条例違反者へ2,000円の過料徴収、環境美化推進員制度の創設等。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	吹田市環境美化に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地域の環境											
	目標(どういう状態にしたいのか)	喫煙マナーの適正化及びごみのポイ捨てを防止します。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	清潔できれいなまちがつけられ、市民の生活環境の向上に資することができます。												
(7) 事業概要	吹田市内の道路等での歩きタバコやごみのポイ捨て禁止など環境美化の推進を市民・事業者で組織する環境美化推進員等と一緒にすることで、清潔できれいなまちづくりを推進します。また、環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区を指定し、喫煙ルールの適正化等を周知啓発することで更なる環境美化の推進を図ります。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大	05	中	02	小	02
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,370	5,621	7,447	6,069	7,078							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	0.90	0.70							
		総額(B)	8,352	8,039	8,170	7,110	5,637							
	総事業費(A+B)		11,722	13,660	15,617	13,179	12,715							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	市負担(D)		11,722	13,660	15,617	13,179	12,715							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		11,722	13,660	15,617	13,179	12,715								
財源計(C+D)		11,722	13,660	15,617	13,179	12,715								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① コート大阪支店											
			②											
			③											
	主な委託内容		路上喫煙禁止標示シートや標示看板等の設置											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	環境美化の啓発箇所数	目標値	(単位:箇所)	22.00	25.00	/
			実績値	(単位:箇所)	25.00	25.00	
			達成度(%)		113.6	100.0	
	目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	546.40	536.88	
				一般財源(単位:千円)	546.40	536.88	
			実績		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	
(2) 成果指標	①	環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の指定数	目標値	(単位:)	6.00	7.00	/
			実績値	(単位:)	6.00	7.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,276.67	1,917.43	
				一般財源(単位:千円)	2,276.67	1,917.43	
					単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	
(3) が困難な場合	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
					単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	
(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
					単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	
の3が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	環境美化啓発による清潔できれいなまちづくりの推進			達成状況	市民・事業者・行政の協働により環境美化の推進が図られています。
		今後の方向性 (実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
		評価の説明	環境美化キャンペーンの実施など環境美化の啓発を行うとともに、清掃用具の貸与や地域清掃用のごみ袋の配付などの支援により環境美化の推進を行っています。また、路上喫煙の適正化に向け、吹田市環境美化に関する条例を改正し、その実効性を確保するため環境美化指導員(市職員で構成)による巡回指導、環境美化推進員(市民、事業者、大学等で構成)による啓発、指定喫煙所の管理(設置はJT)を行っています。今後、環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の指定箇所を増やすことにより、更なる環境美化の推進を図ります。				

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	環境美化啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00650				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	6	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域環境課	事務事業番号	00650
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

事業開始当初と比べて事業費及び、市負担ともに増えているが、環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区を平成11年から順次指定していることから、本市の更なる環境美化の啓発を図るため必要な経費である。また、他市に比べて環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の指定箇所数も多い。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民、事業者の協力を得て駅頭において、喫煙マナーの適正化やたばこの吸い殻などのポイ捨て防止を周知する環境美化キャンペーンを行うと共に、地域の清掃をしている団体や個人への清掃用具の貸与やごみ袋の配付を行っています。また、環境美化活動の普及及び向上に功労があった団体や個人を表彰しています。</p> <p>さらに、環境美化に関する条例を一部改正し、平成27年2月から、市内全域の道路等での歩きタバコを禁止し、環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区(以下、「重点地区等」という。)におけるごみのポイ捨て行為や路上喫煙をしている者に対し、市からの勧告に従わない者へ過料2,000円を科することができることとしました。</p> <p>なお、平成29年2月に大阪モノレール万博記念公園駅周辺を重点地区等に指定し更なる環境美化の推進を図っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	環境美化清掃委託事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成17年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	吹田市環境美化に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	地域の環境											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	喫煙マナーの適正化及びごみのポイ捨てを防止します。 清潔できれいなまちがつけられ、市民の生活環境の向上につながります。												
(7) 事業概要	環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区(重点地区等)に指定している地下鉄江坂駅・阪急北千里駅・関大前駅周辺のたばこの吸い殻等のポイ捨て及びその他の散乱ごみの清掃、除草等を行うとともに、ポイ捨て防止のための啓発を行っています。また、重点地区等(江坂公園、豊津公園、阪急南千里駅、JR吹田駅北口、JR岸辺駅南口)に設置する喫煙所及びその周辺の清掃を実施しています。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	05	中事業	02	小事業	03
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,801	2,831	3,568	3,143	3,464							
	人件費	職員数	人	0.20	0.30	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	1,671	2,412	1,634	1,580	1,611						
	総事業費(A+B)		4,472	5,243	5,202	4,723	5,075							
	特定財源(C)		0	15	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	15	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,472	5,228	5,202	4,723	5,075							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,472	5,228	5,202	4,723	5,075								
財源計(C+D)		4,472	5,243	5,202	4,723	5,075								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(特非)吹田・江坂ビジョン21										
			②	(公社)吹田市シルバー人材センター										
			③	(特非)すいた東部コンシェルジュ										
	主な委託内容		駅周辺の清掃活動や環境美化の啓発活動等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 委託事業での美化清掃時間、ポイ捨て防止啓発時間及び喫煙所清掃時間	目標値	(単位:時間)	1,640.50	2,619.50	2,920.00	
			実績値	(単位:時間)	2,619.50	2,920.00		
			達成度(%)		159.7	111.5		
	目標値の積算方法	前年度実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.00	1.64	
				一般財源(単位:千円)		2.00	1.64	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の3が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	駅周辺での清掃活動や環境美化の啓発活動等の実施により、市民の生活環境の向上を図ります。			達成状況	各駅周辺における環境美化の向上が図られています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区に指定している地下鉄江坂駅、阪急北千里駅、阪急関大前駅などにおけるたばこ等のごみのポイ捨て禁止に係る啓発活動や、清掃等を行うことにより、駅周辺からまちの美化が推進されます。また、喫煙所の維持管理を行うことにより、路上喫煙の適正化が図られ、清潔できれいなまちづくりに寄与できます。今後、環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の指定箇所を増やすことにより、更なる環境美化の推進を図ります。					

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	環境美化清掃委託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00651				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	8	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域環境課	事務事業番号	00651
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

事業開始当初と比べて事業費及び、市負担ともに増えているが、環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区を平成11年から順次指定していることから、本市の更なる環境美化の啓発を図るため必要な経費である。また、他市に比べて環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の指定箇所数も多い。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>地下鉄江坂駅周辺、阪急北千里駅周辺、阪急関大前駅周辺の清掃、除草等を行うとともに、路上喫煙禁止及びポイ捨て防止のための啓発を行っています。 また、江坂公園、豊津公園、JR吹田駅北口、阪急南千里駅、JR岸辺駅南口に設置する喫煙所及びその周辺の清掃を行っています。 今後も引き続き実施することで、環境美化の推進を図る必要があります。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業				
担当部名	環境部	室課名	地域環境課	室課長名	林 泰史

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度		改正内容						
(2)	直近の改正								
(3)	根拠法令等	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	26	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	火葬場及び火葬場に勤務する職員						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、業務上必要な物資を備蓄する						
	結果 (どのような効果が得られるのか)								
(7)	事業概要	平成27年11月に策定された吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、具体的な行動を進めるための、業務上必要な物資を備蓄する。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	264	192	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00
			総額(B)	千円	0	0	818	790	0
		総事業費(A+B)		0	0	1,082	982	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	1,082	982	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	1,082	982	0		
財源計(C+D)		0	0	1,082	982	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	新型インフルエンザ発生等対策として、業務上必要な物資を計画的に確保しています。			目標	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、環境部における具体的な行動を進めます。
	②	成果内容	新型インフルエンザ等対策に業務上必要な物資を年次ごとに計画的に備蓄します。			達成状況	新型インフルエンザ等が発生した場合、職員が業務に従事できるよう、業務上必要な物資を2週間分備蓄しています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成27年11月に策定された吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、環境部における具体的な行動を進めるため、年次的に業務上必要な物資を2週間分備蓄する必要があります。				

事務事業分析シート

所属名	地域環境課	事業名	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01669				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
評価点合計 (100点満点)	85			

所属名	地域環境課	事務事業番号	01669
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes representing different evaluation criteria. The outermost scale is marked from 0 to 20 in increments of 5. The data points are: 妥当性 (Justification) at 15, 有効性 (Effectiveness) at 10, 効率性 (Efficiency) at 5, 公平性 (Fairness) at 5, and 持続可能性 (Sustainability) at 10. The area between the center and these points is shaded blue.</p>		
(3)現状分析	<p>吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、年次の計画的に必要な物資を購入し、備蓄を進めています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)